

想いを伝える弁論大会

各学級の代表集い 考えを披露

学年弁論大会で考えを発表する弁士



校内学年弁論大会

6月14日(月)、各学年で学年弁論大会が行われました。各学級の代表の弁士が堂々と自分の考えを発表しました。学級代表の弁士は、各学級で行われた学級弁論大会で選ばれた人たちです。学級弁論大会では、一人一人が普段気になるこ

とや疑問に感じていること、社会問題の中から学んだことなど、テーマを決めて聴き手に分かりやすく伝えるために発表をどのように工夫するか考え、臨みました。聴き手も様々な弁論を聴くことで新たな気付きもあつたことでしょう。

また、「自分の伝えたいことをいかにして伝えるか」は弁論の醍醐味ですが、弁



志寛 錬

第5号
2021.7.13
第75代
伊敷中生徒会



審査員の様子

論でなくても、日常生活の中でとても必要なことです。弁論を通じて、学んだこと、感じたことを日常生活の中

でも生かしていきたいでしょう。(中村陽菜)

弁論大会を終えて

一年二組 中山愛彩さん

最初は弁論と作文の違いも分からない自分だった。しかし、題材を決め、構成を組み立てていくうちに、自分が何を伝えたいのかがはつきりしてきた。本番に向けて、さらに考えを整理したり、発表の練習もたくさんした。

当日はとても緊張したが、今の自分の力を発揮することができた。とても貴重な体験になったと思う。

三年六組 谷口悠太郎さん

一年生の時は、弁論というものは具体的に何をやるのか、よく分からなかった。でも一年、二年と経験を積んできたからこそ、弁論

Your actions are all you can own. (フリン)

黒板のことば

この言葉はフリンが書いたもので「あなたが手にできるのは、あなたの行動のみ。」という意味です。総理大臣のスピーチで「あなたの行動のみ。」という言葉が、私たちに大きなインスピレーションを与えてくれました。黒板のことばは、私たちの心を動かす力があります。(永田優李)

の流れが分かってきて自分の伝えたいことがストイックに伝えられたのではないかと思います。

団結の心は...

校内音楽コンクール

7月9日(金)、伊敷中の大きな行事の一つである音楽コンクールがありました。音楽コンクールに向けて、皆さんは、充実した練習ができたでしょうか。みんな団結して練習している学級、意見がぶつかって、なかなか練習が進まない学級、様々だったと思います。最後にどのクラスも素晴らしい合唱を披露することができたと思います。

それぞれの学級で、庶務班班長やプロジェクトメンバーが中心となって練習を進めてきたことと思います。音楽コンクールだけでなく、



音楽コンクールの練習をする3年生

音楽コンクール当日の様子は、次号に取り上げたいと思います。(下園秋乃)

これからある他の行事や日常生活の中でもそうですが、リーダーだけがではなく、リーダーの存在が大事です。「合唱の練習を支持してくれるリーダーの思いに込めよう。」「一緒に頑張ってくれるサポーターの気持ちを引き出そう。」「そういう思いが重なったとき、学級の団結が生まれるのではないかと思います。みなさんの学級はこうだったでしょうか。

『ふれふれ あめふれふれ かあさんが じゃのめでおむかえ うれしいな...』
これは、多くの人が知っている歌だと思えます。毎日毎日じめじめとした日が続く今、うっとうしい梅雨の季節をぐんと楽しくしてくれる歌が、「雨ふり」です。「ピッチピッチチャップチャップランラン」という楽しいリズムは小さいころから今まで長く歌い継がれています。
日本人は昔から童謡を聴きながら成長してきました。この歌も小さいころから何度も何度も歌ってきたからこそ、今でも梅雨の時期になると思い出されるのだと思います。

生徒会の窓

6月から校内音楽コンクールに向けて、どの学級も一生懸命に練習に取り組んできました。ある先生が、私たちの音楽コンクールに向けての練習の様子を見て、「この歌を聴くと、中学校三年生の頃の音楽コンクールを思い出す。」とおっしゃっていました。
学級のみんなで何度も何度も歌ってきた課題曲と自由曲。何度も何度も歌ってきたこの歌は、今だけでなく10年後、20年後もふとしたときに、伊敷中での中学校生活を思い返してくれる大切なものになるのだろうと思います。
(町田 歩末)

伊敷の魅力再発見〜伊敷探訪〜

神社探訪

皆さんは、伊敷の魅力は何だと思えますか。魅力の一つとして、歴史を知ることが出来る場所が多くあることや、歴史が大事にされていることがあります。

伊邇敷神社

歴史が残されている伊邇敷神社を訪れました。道路の脇にある路地に入り、坂を少し登ると小高い場所にひっそりと建つ鳥居が見えてきます。垂仁天皇の第二王子である伊邇色入彦之命が、天下をおまわ

今回、私たちは、伊敷の

りになり、農業を振興して多くの民を救われた。そのとき御在所であった現在の伊敷に、伊邇色入彦之命とその他の神々を御祭神として建てられたのが、この伊邇敷神社です。貞観二年(860年)に建てられた言われ、その歴史は一一六一年もあります。

さらに、伊敷という地名も神社が建てられたときに称された、伊邇色村が訛ったものだといわれています。伊邇敷神社では豊祭や六月灯、春季祭などの例祭が現在も行われています。

護国神社

他にも神社があります。鹿児島神社と鹿児島護国神社です。護国神社とは、祖国のために命を捧げた人の霊祀している神社のことをいいます。鹿児島護国神社では鹿児島県出身者の御英霊七万八千余柱が祀られています。この神社では、SNSで



伊邇敷神社

の情報発信も行っており、多くの参拝客が日々訪れています。

他にもこの地域には草牟田遺産など、22個の歴史的価値のあるものが認定されています。皆さんも、今回ご紹介した場所に訪れてみたり、伊敷の歴史を調べてみたりして下さい。(皆倉甫洸)

未来を創る選挙

生徒会選挙の前に考えよう

もうすぐ、次の生徒会選挙が行われます。伊敷中の生徒会のこれからを決める大事な選挙です。皆さんは「選挙」と聞くとどのようなイメージがあるでしょうか。

か。「難しい…」とよく分らない…」と思う人が多いでしょう。今回は、「選挙」について皆さんと考えたいと思います。皆さんは数年前、選挙権が18歳以上に引き下げられたことを覚えていますか。選挙権はその名の通り、選挙に参加することのできる



生徒会の一人一役に「電灯係」を設置し、無駄な電気は使わないようにします！



みなさんはこまめに電気を消していますか。教室の電気だけではなく、トイレの電気もです。使うとき以外は電気を消すというのは、SDGsの「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」につながるものです。



体育服の袖に書かれている「Team伊敷」。5年前から書かれているので、なぜ、書かれているのだろうと疑問に思っている人もいます。今回は、「Team伊敷」を探ります。



体育服に書かれたTeam伊敷

教えて！イシキーズ！！

伊敷中の体育服の袖に「Team伊敷」という文字が書かれています。どのような思いが込められているのですか？

「Team伊敷」は第71代生徒会のスローガンです。伊敷中学生が、生徒会の一員としての自覚をより深めるためにどうしたらよいかと考え、体育服に「Ishikiーズ」を入れていることになったそうです。

伊敷中全員が「呼び掛けがなくても一人一人が動ける生徒会を目指したい」「やらされている気持ちより、一つ一つの仕事の意味を理解し心を込めてやろう、責任をもってやらなければ」という気持ちをもてる生徒会を目指したい」と思えるようなキャッチフレーズを作りたいと思い、全校生徒から募集したそうです。たくさんの案があげられたそ

うですが、一番多かった「Team伊敷」が採用されたそうです。第71代生徒会の担当をしていた上妻先生は「昔から伊敷中学生徒会は、学校のためにという気持ちをもって活動していました。みんなで伊敷中をよりよくしたいという思いが込められている言葉がTeam伊敷です。先輩たちの思いの思いを今の伊敷中生が受け取ってくれるといいですね。」と話していました。



伊敷 集団で過ごす日常生活の中でもとても大切なことです。



昨年度の立会演説会の様子

現在のでも活発に行われている生徒会活動ですが、先輩たちの思いも大事に、これからの一つの「Team」そして、よりよい伊敷中を創っていきましょう。(馬場口 彩音)

編集後記

六月号、どうでしたか。第75代翌檜新聞のコンセプトは「伊敷の魅力再発見」ということで、地域の魅力を再発見するために、翌檜部員で神社を訪れました。また、二学期に行われる選挙。選挙とは何かということも取り上げてみました。学びが多い新聞となりました。記事があるので、ぜひ読んでください。(芹ヶ野結惟)

今の三年生はもう三年後には選挙に参加することになります。常に社会の動きに関心をもち、自分の意見で社会を変えることができるかもしれないという責任を自覚しなければなりません。

一般の選挙の練習の一つとして生徒会選挙があります。7月7日には立候補者